



## 魅力ある建設業を目指して

東京土木施工管理技士会 会長  
東急建設株式会社  
代表取締役社長

### 寺田 光宏

2021年の新春を迎え謹んでご挨拶申し上げます。

会員の皆様におかれましては、つつがなく新年をお迎えのことと拝察致します。

また、平素より技士会運営に格別のご理解とご協力を賜り厚く御礼申し上げます。

まずは、世界中で猛威をふるう新型コロナウイルス感染症によって、多方面で大きな影響が出ております。世界経済はリーマンショック時を上回る大打撃を受けており、会員の皆様にも少なからず影響がでているものと存じます。

現場においても感染拡大防止にご苦労されているものと思います。一方、これを契機に建設業においてもリモートでの会議や遠隔での現場確認、AIの活用など、DXを中心とした技術革新による現場のさらなる効率化が進むことにより、働き方改革が推進されるものと期待しているところです。現在建設業界は働き方改革の実現に向けて週休2日の確保などの取り組みを進めているところですが、決して容易ではありません。当会としても、建設業界が働き方改革を進められるよう、国などの行政との連携を図ってまいります。

また、近年、台風や大雨により河川が決壊するなど多くの自然災害が発生しています。さらに、首都直下地震の発生懸念もある中で都民の

安全と安心を守るのは私ども建設業の使命であり、その中心となって活躍するのが施工管理技士会会員の皆様です。さらには、防災力の強化に加え、道路・交通網などのインフラを整備することは都市としての魅力を向上させることにほかなりません。今後も行政の施策に当会は積極的に協力してまいります。

さて、本年はいよいよ東京オリンピック・パラリンピック開催が予定されております。

現在のコロナ禍ではどのような開催形式となるのかわかりませんが、開催期間中の工事への影響など今後とも情報提供に努めてまいります。

日本経済のけん引役である東京都の国際競争力をさらに高めていくためには五輪終了後も継続した建設投資による強靱化を中心としたインフラ整備が不可欠です。これからも、会員の皆様の技術力により、都民の安全と安心を守り、東京の発展に尽くすとともに、皆様と「魅力ある建設業」を目指してまいります。

結びに、本年も東京の建設業界を取り巻く諸課題に会員企業が対応できるよう微力ながら取り組んでまいりますので、会員の皆様のご指導ご鞭撻を賜りますよう宜しくお願い申し上げますとともに、会員の皆様のご健勝と建設業の益々の発展を御祈念申し上げ、新年のご挨拶とさせていただきます。



## 「働き方改革」を真剣に 考える、よきチャンスに!

東京土木施工管理技士会 副会長  
戸田建設株式会社  
常務執行役員 土木工事統轄部長

### 山田 裕之

謹んで新年のお慶びを申し上げます。

新型コロナの収束は、先の見えない状態です。建設業も影響を受けて、建築工事や海外工事は、業績の数字にやや影響を与えています。しかしながら、土木の世界では、公共工事主体のため、堅調に推移している状況です。

また、新型コロナの影響で、仕事の進め方が大きく変化しました。在宅勤務やテレワークが増え、リモートでの会議や打合せ、書面決裁などが急速に普及しました。「リモートでも大丈夫!」と実感された方が多いと思います。移動時間が削減されるだけでも、残りの時間を、他の仕事のために活用することができます。

一方、現場のコロナ対策は、細心の注意が必要です。クラスターを発生させずに、工事を中断することなく、進めなければなりません。朝礼の分散化や、休憩室での換気や3密の回避など、特に作業員の多い現場では、より神経を使います。

私は、このコロナ禍を機に、建設業の働き方を見つめる、本当のよき機会になればと思います。特に、どの会社も、外勤と内勤の労働時間の格差の問題があります。

土木は自然を相手にするため、大雨、地震、地質の変化などで、想定通りに進みません。私の現場時代は、昼は現場で、夕方以降が内業、そして、土・日曜日に出勤しなければならない場合が多いのが現状でした。現在は改善されているものの、似たような状況があります。現場の人たちの仕事に定時で終了して、残りの時間を自分自身の健康

や家族のためにあて、より高いレベルで日々の仕事に臨めることが大切です。

生産性を向上させるため、自動化・省力化を進め、最新のAIやICT技術やツールを、施工や施工管理に多用することが必要です。現場で、DXを推進することやリモートやフレックスタイムを多用する、一方では、内勤の社員が外勤の仕事（書類、図面など）を支援するしくみも大切と感じます。

最終的には、発注者、ゼネコン（元請け）社員、協力会社の良好なコミュニケーション、情報共有に到達します。仲間同士の仕事の見える化や終業・仕事の締め切りを定めて、徹底することが大切です。建設業の「働き方改革」は、やはり建設業にかかわる全組織が、真剣に前向きに考えて進める必要があります。

当技士会も、若手技術者の育成や土木技術を広く普及するため、講習会・現場見学会・広報活動等を積極的に展開しているところです。特に多くの若手技術者に対して、土木の魅力とやりがいを発信していきたいと考えます。コロナ禍で多くの人が苦勞されている中、土木の世界では、目前にやるべき仕事がたくさんあります。安全で安心な社会基盤を整備する使命もあります。このことに感謝しながら、「新たな働き方」を進めていきましょう。

最後に、会員皆様のご発展とご健勝を心から祈念して、新年のご挨拶と致します。



## 建設業にとっての New Normal

東京土木施工管理技士会 副会長  
清水建設株式会社  
常務執行役員 土木東京支店長

### 桑原 泰秀

2021年の新春を迎え謹んで新年のご挨拶を申し上げます。

昨年は国内では長年続いた安倍政権が、首相の体調上の理由からの退陣により総裁選挙が行われ新しく菅政権が誕生しました。また米国では国を二分するかのような激しい大統領選挙戦が行われ、結果としてトランプ大統領の再選はならず新しく民主党のバイデン大統領が第46代大統領に選ばれました。このように2020年は、国の内外で我が国の政治や経済、国民の生活に大きな影響を与える出来事があった年となりました。

一方、本来であれば7月下旬から8月にかけて東京都をはじめとした首都圏を中心にして東京オリンピック・パラリンピック大会が開催される予定でした。しかしながらご承知のとおり中国・武漢で発生した新型コロナウイルスの感染拡大により、東京オリンピック・パラリンピック大会は2021年へ延期されることとなりました。新たな東京オリンピック・パラリンピック大会の競技会場の建設やそれに関連する国内の社会資本の整備に多くの皆さんが尽力されたことと思います。その努力の結果、工期どおりに且つ、選手たちの力量を発揮させるのに十分な施設が整備され、我が国の社会資本の充実ぶりや震災からの復興を世界に示す機会となるはずでしたが、その機会は2021年に先送りされることになりました。2021年に多くの選手たちが新しい高機能な競技施設を舞台に卓越した技量を披露し、日本を訪れた世界の人たちが建設業界が地道に貢献している社会資本の充実

ぶりや日本人のもてなしに必ずや満足してくれるものと確信をしています。

今回の新型コロナウイルスの感染拡大は、世界経済はもとより我が国の国民の生活に大きな影響を与えています。業種によっては突然の感染発症とその拡大により業績見通しが悪化したところもあり、その影響は少なからず建設業界にも及んでいます。しかし、その反面、今までになかなか進まなかった生産性の向上を促進する契機ともなりました。通勤に大きな時間を要しながらも定着しなかった在宅勤務は日常となり、onlineによるWeb会議も定着した企業も多いという結果が出ています。現場ではi-constructionが積極的に導入され、発注者との立会検査にも遠隔臨場が採用されています。接触機会の削減といった感染拡大防止策としてだけでなく、発注者の検査のための移動時間短縮はもとより受注者にとっても待ち時間の短縮で結果として総労働時間の短縮につながった例も増えており建設業にとっての新しい生活様式も定着し始めています。会員各社の皆さまには、2024年の改正労働基準法の施行までの残された時間の間に新たな取り組みに積極的な努力を重ね、次世代の担い手にとって生産性の高い魅力的な建設業となるようにご尽力とご協力を引き続きお願いいたします。

結びになりますが本年の会員各社の皆さまのご発展とご健勝を心から祈念して年頭のご挨拶とさせていただきます。